

2022年10月19日

公益財団法人 日本セーリング連盟
公益財団法人 広島県セーリング連盟

「2022 ハンザクラスワールド広島大会」明日、開幕



広島観音マリーナに到着したブラジルからの参加者

「2022 ハンザクラスワールド」が広島観音マリーナ(広島県広島市西区観音新町)を拠点に明日から始まります。この大会はトップパラアスリートが競う「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島」と、障がい者と健常者がハンディキャップなしにレースを行うインクルーシブな「2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」が同時に開催されるもので、日本を含め世界 13 カ国から 114 人のセーラーが集います。

日本でパラセーリング競技の世界選手権大会が開催されるのは初めてのこと。コロナ禍の影響で選手の人数は制限されましたが、ハンザクラス世界ランキング 1 位、2 位の選手が参加するなどハイレベルな戦いが期待できます。一方、ハンザクラスのコンセプトは「Sailing for Everyone」。海の上では真剣勝負が繰り広げられますが、陸に上がればセーラーやサポーターが和気あいあいと集うアットホームな大会となります。

また今大会は、ヨットレースだけでなく SDGs #14「海の豊かさを守ろう」をテーマに、環境保全に寄与する評価項目を定めて貢献度を競う「SDGs レース」も同時に行います。選手は大会 1 カ月前の 9 月 20 日から、日本セーリング連盟が開発した専用ウェブアプリを使って「SDGs レース」に参加しており、大会最終日にはヨットレースの結果だけでなく、環境保全に寄与したセーラーも表彰されます。

SDGs レースでは「ペットボトルを使わない」「フードロスを出さない」「ゴミをリサイクルする」といった日常生活の中でできることから、「レース海域で海水を摂取して広島湾のマイクロプラスチック調査に協力する」といった大会に参加しなければならないアクションまであります。また広島名産の牡蠣の養殖過程で出るプラスチックを回収し、地元の漁業者や企業と共にリユースする取り組みも行う予定です。

【参加国数】

13 カ国

【参加人数】

114 人

【参加チーム数】

96 チーム

【エントリー数】

ハンザ 2.3	18 艇
ハンザ 303 シングル	38 艇
ハンザ 303 ダブル	31 艇
リバティ	9 艇

【参加国】

JPN	日本
AUS	オーストラリア
BRA	ブラジル
FRA	フランス
GER	ドイツ
NED	オランダ
NZL	ニュージーランド
OMA	オマーン
POL	ポーランド
SWE	スウェーデン
THA	タイ
TUR	トルコ
USA	アメリカ

【2022 ハンザワールド 表彰クラス】

アジアパシフィックチャンピオンシップ(オープン参加のインクルーシブレース)

- ・ハンザ 2.3 シングル(一人乗り)
- ・ハンザ 303 シングル
- ・ハンザ 303 ダブル(二人乗り)
- ・リバティ *リバティは 303 をベースに障がいが高くても一人で操船できるよう安定性を高めた艇
- ・リバティサーボ *サーボとは操船を補助する電動サポート器具を装着した艇

パラセーリングチャンピオンシップ(国際基準のクラス分け証明を持つパラセーラー対象レース)

- ・ハンザ 303 シングル男子
- ・ハンザ 303 シングル女子
- ・リバティ/リバティサーボ

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

2022 ハンザクラスワールド広島実行委員会

公式サイト:www.hansaclass-hiroshima.com

(岸田首相からのビデオメッセージはこちらでご覧いただけます)

メール:media.hansahiroshima2022@jsaf.or.jp

電話:西朝子(090-1042-9262)

大会取材をご希望の方は以下のフォームよりメディア登録をお願いします。

【メディア登録】

Google フォームズ

<https://forms.gle/cdfoxf7Bxcug2JtA9>